

資料12 アスベスト調査結果

No	建築物等名称	建築物等所在地	施工年	試料採取部位	試料名称	試料採取日	試料採取方法	結果
1	小林斎場	大阪市大正区小林東3丁目12番8号	昭和53年	(管理棟)屋根	アスファルト防水	R4.10.5	カッター等による切断	アスベスト非含有
2	小林斎場	大阪市大正区小林東3丁目12番8号	昭和53年	(管理棟)外壁	タイル状吹付	R4.10.5	カッター等による切断	アスベスト非含有
3	小林斎場	大阪市大正区小林東3丁目12番8号	昭和53年	(管理棟)歩廊天井	石綿板、パーライトモルタル吹付	R4.10.5	カッター等による切断	アスベスト非含有
4	小林斎場	大阪市大正区小林東3丁目12番8号	昭和53年	(管理棟)休憩室床	塩ビシート	R4.10.5	カッター等による切断	アスベスト非含有
5	小林斎場	大阪市大正区小林東3丁目12番8号	昭和53年	(管理棟)更衣室巾木	塩ビ巾木	R4.10.5	カッター等による切断	アスベスト非含有
6	小林斎場	大阪市大正区小林東3丁目12番8号	昭和53年	(管理棟)休憩室壁	モルタル、ビニルクロス	R4.10.5	カッター等による切断	アスベスト含有 (クリソタイル)
7	小林斎場	大阪市大正区小林東3丁目12番8号	昭和53年	(管理棟)休憩室天井	リブ付岩綿系吸音板	R4.10.5	カッター等による切断	アスベスト非含有
8	小林斎場	大阪市大正区小林東3丁目12番8号	昭和53年	(管理棟)救護室壁	モルタル 砂壁状吹付	R4.10.5	カッター等による切断	アスベスト含有 (クリソタイル)
9	小林斎場	大阪市大正区小林東3丁目12番8号	昭和53年	(管理棟)事務室床	ビニールアスベストタイル	R4.10.5	カッター等による切断	アスベスト含有 (クリソタイル)
10	小林斎場	大阪市大正区小林東3丁目12番8号	昭和53年	(管理棟)給湯室天井	木毛セメント板	R4.10.5	カッター等による切断	アスベスト非含有
11	小林斎場	大阪市大正区小林東3丁目12番8号	昭和53年	(管理棟)作業員控室天井	石こうボード、エマルジョンアクリル塗	R4.10.5	カッター等による切断	アスベスト非含有
12	小林斎場	大阪市大正区小林東3丁目12番8号	平成3年	(本館1階)外壁	モルタル下地 タイル状吹付	R4.10.5	カッター等による切断	アスベスト非含有
13	小林斎場	大阪市大正区小林東3丁目12番8号	平成3年	(本館1階)炉前ホール天井	岩綿系吸音板	R4.10.5	カッター等による切断	アスベスト含有 (クリソタイル)
14	小林斎場	大阪市大正区小林東3丁目12番8号	昭和53年	(管理棟)空調室天井	木毛セメント	R4.10.5	カッター等による切断	アスベスト非含有
15	小林斎場	大阪市大正区小林東3丁目12番8号	平成3年	(本館1階)式場壁	石こうボード、ビニルクロス	R4.10.5	カッター等による切断	アスベスト非含有
16	小林斎場	大阪市大正区小林東3丁目12番8号	平成3年	(本館2階)公害機械室天井	木毛セメント板、断熱材	R4.10.5	カッター等による切断	アスベスト非含有
17	小林斎場	大阪市大正区小林東3丁目12番8号	平成3年	電気室天井	木毛セメント	R4.10.5	カッター等による切断	アスベスト非含有

試 験 成 績 書

検 アスベスト 第 52 号

依 頼 日

令和 4 年 10 月 18 日

依頼者住所

試 料

氏 名

環境局斎場霊園担当課長

試験項目

建材中の非飛散性アスベストの
機械的粉碎及び篩い分け
建材中のアスベストの含有判定(定性)

TEL

06-6630-3165

令和 4 年 10 月 31 日

大阪市立環境科学研究センター所長 増田 淳二

提出された上記試料について検査した結果は別紙のとおりです。



本成績書を他に掲載するときは当センターの承認を受けてください。

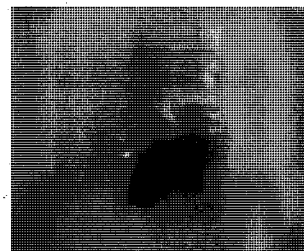
建材製品中の非飛散性アスベスト含有判定結果

大阪市立環境科学研究センター

試料

受付日 : 令和4年10月18日
建築物等名称 : 小林斎場
建築物等所在地 : 大阪市大正区小林東3丁目12番8号
施工年 : 昭和53年
試料採取部位 : (管理棟)屋根
試料名称 : アスファルト防水
* 試料採取日 : 令和4年10月5日
* 試料採取者 : 南野 孝文
* 試料採取方法 : カッター等による切断

*試料の採取は依頼者側で実施



試料の写真
(受付番号: 101811)

分析方法

依頼者採取により提出された上記試料を、JIS A1481-1『建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法』に基づき分析した。

ただし、『アスベスト分析マニュアル【1.11版】』(平成29年6月 厚生労働省)「3.4 不検出確定の手順」および、JIS A1481-2『建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法』の記載内容も参考とした。

双眼実体顕微鏡 : SMZ745T (株式会社 ニコン製)
偏光顕微鏡 : ECLIPSE LV100POL (株式会社 ニコン製)
X線回折装置 : X'pert PRO (PANalytical 製)
位相差顕微鏡 : ECLIPSE 80i TP-DSP (株式会社ニコン 製)

偏光顕微鏡 (PLM) および位相差顕微鏡による定性分析結果

石綿の種類	推定石綿質量分率					
クリンタイル	☐ 無検出	☐ 検出	☐ 0.1-5%	☐ 5-50%	☐ 50-100%	
アモサイト	☐ 無検出	☐ 検出	☐ 0.1-5%	☐ 5-50%	☐ 50-100%	
クロソドライト	☐ 無検出	☐ 検出	☐ 0.1-5%	☐ 5-50%	☐ 50-100%	
トレモライト	☐ 無検出	☐ 検出	☐ 0.1-5%	☐ 5-50%	☐ 50-100%	
アクチノライト	☐ 無検出	☐ 検出	☐ 0.1-5%	☐ 5-50%	☐ 50-100%	
アンソフィライト	☐ 無検出	☐ 検出	☐ 0.1-5%	☐ 5-50%	☐ 50-100%	

※分析結果の詳細は裏面参照のこと

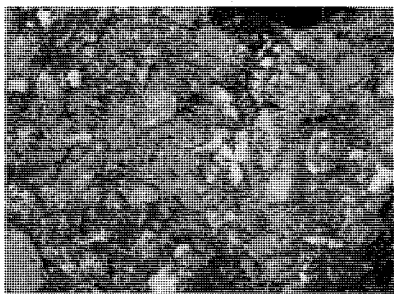
判定結果

アスベスト含有せず

以上

実体顕微鏡による観察結果

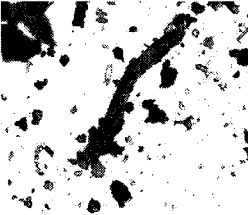
(分析実施日：令和4年10月18日)



※ 偏光顕微鏡による詳細観察に供することができる
アスベスト様の繊維粒子は検出できなかった。
以下の手順は、均一化した試料から任意に採取したものを使用した。

偏光顕微鏡および位相差顕微鏡による分散染色法により確認された代表的な繊維状粒子とその光学特性

(分析実施日：令和4年10月21日)

分析項目	結果	観察した繊維の PLM像	
アスベスト様形態	なし		
色	なし		
多色性	なし		
複屈折性	有		
消光角	ゼロ(直消光)		
伸張の符号	正		
浸液の屈折率	アスベスト様形態に該当する繊維は検出されなかった。 そのため、分散染色法は実施しなかった。		
上記浸液に対応する分散色			

※ 上記の光学特性をもつ繊維は、アスベスト繊維に該当しない。

X線回折方法による定性分析（参考）

(分析実施日：令和4年10月19日)

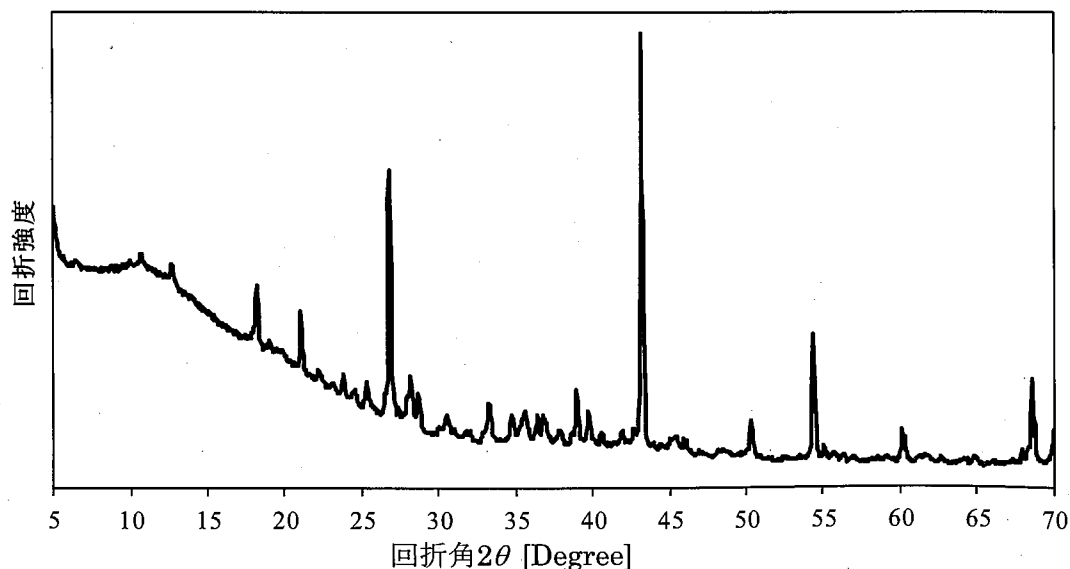


図 JIS A1481-2を参考に、作成した二次分析試料を測定したX線回折結果

試料

受入
建築
建築
施工
試料
試料
* 試料
* 試料
* 試料

分析方

依頼
-第
た
お
試料

双
偏
X線
位

偏光顕

ア
シ
シ
シ
シ
ア

判定結

ア

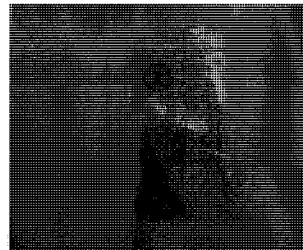
建材製品中の非飛散性アスベスト含有判定結果

大阪市立環境科学研究センター

試料

受付日 : 令和4年10月18日
建築物等名称 : 小林斎場
建築物等所在地 : 大阪市大正区小林東3丁目12番8号
施工年 : 昭和53年
試料採取部位 : (管理棟)外壁
試料名称 : タイル状吹付
* 試料採取日 : 令和4年10月5日
* 試料採取者 : 南野 孝文
* 試料採取方法 : カッター等による切断

*試料の採取は依頼者側で実施



試料の写真
(受付番号: 101812)

分析方法

依頼者採取により提出された上記試料を、JIS A1481-1『建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法』に基づき分析した。

ただし、『アスベスト分析マニュアル【1.11版】』(平成29年6月 厚生労働省)「3.4 不検出確定の手順」および、JIS A1481-2『建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法』の記載内容も参考とした。

双眼実体顕微鏡 : SMZ745T (株式会社 ニコン製)
偏光顕微鏡 : ECLIPSE LV100POL (株式会社 ニコン製)
X線回折装置 : X'pert PRO (PANalytical 製)
位相差顕微鏡 : ECLIPSE 80i TP-DSP (株式会社ニコン 製)

偏光顕微鏡 (PLM) および位相差顕微鏡による定性分析結果

石綿の種類	推定石綿質量分率					
クソソタイル	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アモサイト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
クロソドライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
トレモライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アクチノライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アンソフィライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	

※分析結果の詳細は裏面参照のこと

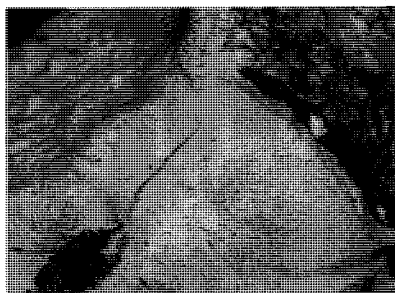
判定結果

アスベスト含有せず

以上

実体顕微鏡による観察結果

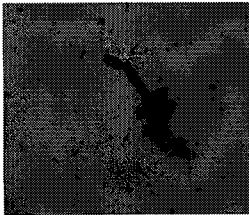
(分析実施日：令和4年10月18日)



※ 偏光顕微鏡による詳細観察に供することができる
アスベスト様の繊維粒子は検出できなかった。
以下の手順は、均一化した試料から任意に採取したものを使用した。

偏光顕微鏡および位相差顕微鏡による分散染色法により確認された代表的な繊維状粒子とその光学特性

(分析実施日：令和4年10月21日)

分析項目	結果	観察した繊維の PLM像
アスベスト様形態	なし	
色	なし	
多色性	なし	
複屈折性	有	
消光角	ゼロ(直消光)	
伸張の符号	正	
浸液の屈折率	アスベスト様形態に該当する繊維は検出されなかった。 そのため、分散染色法は実施しなかった。	
上記浸液に対応する分散色		

※ 上記の光学特性をもつ繊維は、アスベスト繊維に該当しない。

X線回折方法による定性分析（参考）

(分析実施日：令和4年10月19日)

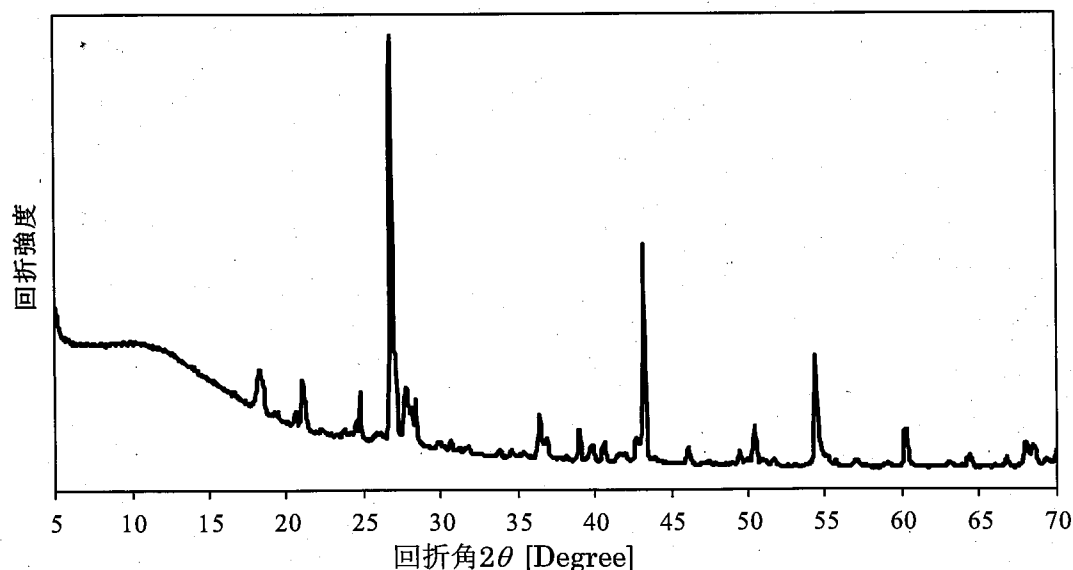


図 JIS A1481-2を参考に、作成した二次分析試料を測定したX線回折結果

試料

受
建
建
施
試
試
*
*
*
*
試
試

分析

依
多
た
ま
計

又
係
X
有

偏光

判定

建材製品中の非飛散性アスベスト含有判定結果

大阪市立環境科学研究センター

試料

受付日 : 令和4年10月18日
建築物等名称 : 小林斎場
建築物等所在地 : 大阪市大正区小林東3丁目12番8号
施工年 : 昭和53年
試料採取部位 : (管理棟)歩廊天井
試料名称 : 石綿板、パーライトモルタル吹付
* 試料採取日 : 令和4年10月5日
* 試料採取者 : 南野 孝文
* 試料採取方法 : カッター等による切断

*試料の採取は依頼者側で実施



試料の写真
(受付番号 : 101813)

分析方法

依頼者採取により提出された上記試料を、JIS A1481-1『建材製品中のアスベスト含有率測定方法 -第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法』に基づき分析した。

ただし、『アスベスト分析マニュアル【1.11版】』(平成29年6月 厚生労働省)「3.4 不検出確定の手順」および、JIS A1481-2『建材製品中のアスベスト含有率測定方法 -第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法』の記載内容も参考とした。

双眼実体顕微鏡 : SMZ745T (株式会社 ニコン製)
偏光顕微鏡 : ECLIPSE LV100POL (株式会社 ニコン製)
X線回折装置 : X'pert PRO (PANalytical 製)
位相差顕微鏡 : ECLIPSE 80i TP-DSP (株式会社ニコン 製)

偏光顕微鏡 (PLM) および位相差顕微鏡による定性分析結果

石綿の種類	推定石綿質量分率					
クリンタイル	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アモサイト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
クロソドライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
トレモライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アクチノライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アンソフィライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	

※分析結果の詳細は裏面参照のこと

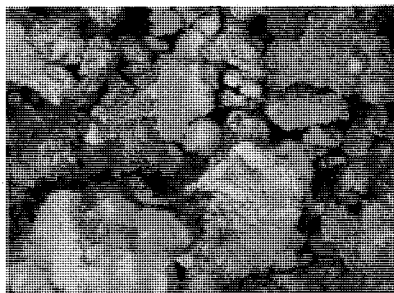
判定結果

アスベスト含有せず

以上

実体顕微鏡による観察結果

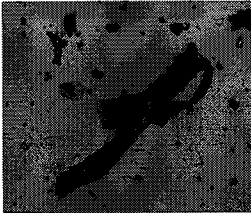
(分析実施日：令和4年10月18日)



※ 偏光顕微鏡による詳細観察に供することができる
アスベスト様の繊維粒子は検出できなかった。
以下の手順は、均一化した試料から任意に採取したものを使用した。

偏光顕微鏡および位相差顕微鏡による分散染色法により確認された代表的な繊維状粒子とその光学特性

(分析実施日：令和4年10月21日)

分析項目	結果	観察した繊維の PLM像
アスベスト様形態	なし	
色	なし	
多色性	なし	
複屈折性	有	
消光角	ゼロ(直消光)	
伸張の符号	正	
浸液の屈折率	アスベスト様形態に該当する繊維は検出されなかった。 そのため、分散染色法は実施しなかった。	
上記浸液に対応する分散色		

※ 上記の光学特性をもつ繊維は、アスベスト繊維に該当しない。

X線回折方法による定性分析（参考）

(分析実施日：令和4年10月19日)

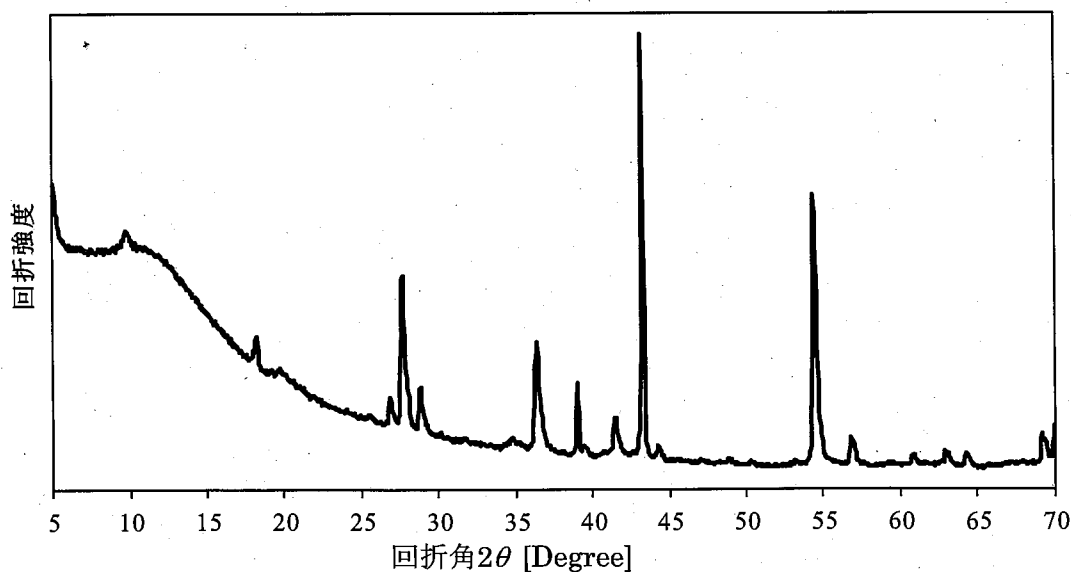


図 JIS A1481-2を参考に、作成した二次分析試料を測定したX線回折結果

試料

受
建
建
施
試
試
* 試
* 試
* 試

分析方

依
第
た
お
試

双
偏
X
位

偏光

判
定
結
果

判
定
結
果

ア

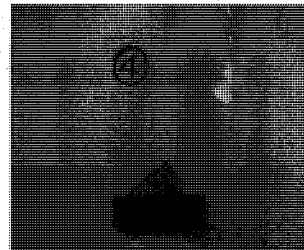
建材製品中の非飛散性アスベスト含有判定結果

大阪市立環境科学研究センター

試料

受付日 : 令和4年10月18日
建築物等名称 : 小林斎場
建築物等所在地 : 大阪市大正区小林東3丁目12番8号
施工年 : 昭和53年
試料採取部位 : (管理棟)休憩室床
試料名称 : 塩ビシート
* 試料採取日 : 令和4年10月5日
* 試料採取者 : 南野 孝文
* 試料採取方法 : カッター等による切断

*試料の採取は依頼者側で実施



試料の写真
(受付番号: 101814)

分析方法

依頼者採取により提出された上記試料を、JIS A1481-1『建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法』に基づき分析した。

ただし、『アスベスト分析マニュアル【1.11版】』(平成29年6月 厚生労働省)「3.4 不検出確定の手順」および、JIS A1481-2『建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法』の記載内容も参考とした。

双眼実体顕微鏡 : SMZ745T (株式会社 ニコン製)
偏光顕微鏡 : ECLIPSE LV100POL (株式会社 ニコン製)
X線回折装置 : X'pert PRO (PANalytical 製)
位相差顕微鏡 : ECLIPSE 80i TP-DSP (株式会社ニコン 製)

偏光顕微鏡 (PLM) および位相差顕微鏡による定性分析結果

石綿の種類	推定石綿質量分率					
クリンタイル	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アモサイト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
クロソドライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
トレモライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アクチノライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アンソフィライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	

※分析結果の詳細は裏面参照のこと

判定結果

アスベスト含有せず

以上

実体顕微鏡による観察結果

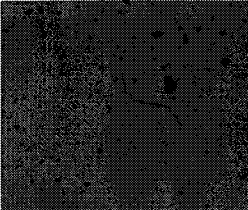
(分析実施日：令和4年10月18日)



※ 偏光顕微鏡による詳細観察に供することができる
アスベスト様の繊維粒子は検出できなかった。
以下の手順は、均一化した試料から任意に採取したものを使用した。

偏光顕微鏡および位相差顕微鏡による分散染色法により確認された代表的な繊維状粒子とその光学特性

(分析実施日：令和4年10月25日)

分析項目	結果	観察した繊維の PLM像
アスベスト様形態	なし	
色	なし	
多色性	なし	
複屈折性	有	
消光角	不完全	
伸張の符号	正	
浸液の屈折率	アスベスト様形態に該当する繊維は検出されなかった。 そのため、分散染色法は実施しなかった。	
上記浸液に対応する分散色		

※ 上記の光学特性をもつ繊維は、アスベスト繊維に該当しない。

X線回折方法による定性分析（参考）

(分析実施日：令和4年10月20日)

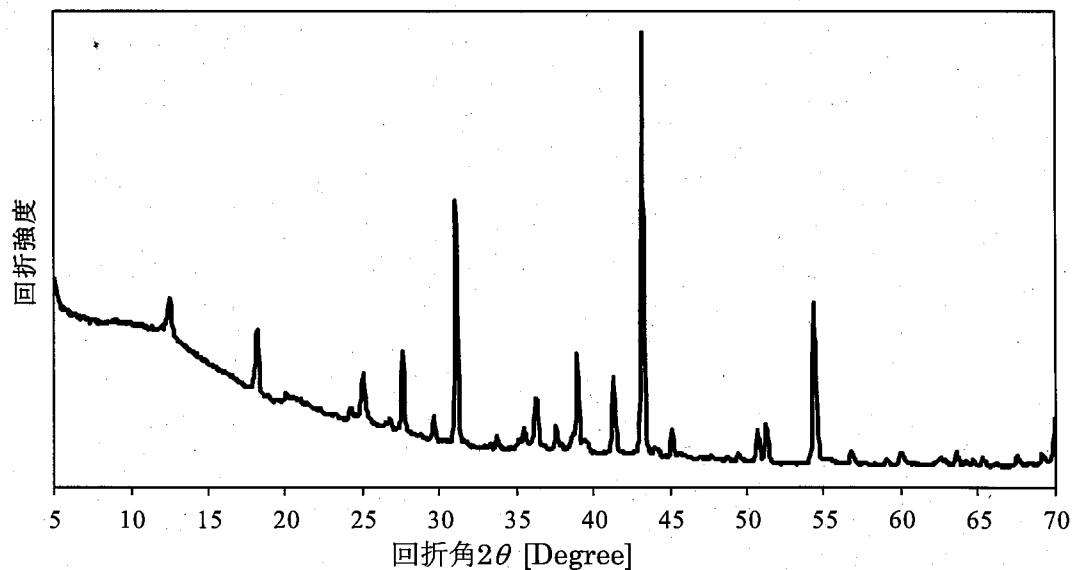


図 JIS A1481-2を参考に、作成した二次分析試料を測定したX線回折結果

試料

受
建
建
施
試
試
* 試
* 試
* 試

分析方

依
第
た
お
試

双
偏
X
位

偏光

ア
シ
ン
ア

判定

ア

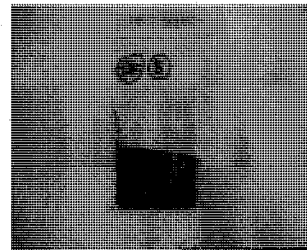
建材製品中の非飛散性アスベスト含有判定結果

大阪市立環境科学研究センター

試料

受付日 : 令和4年10月18日
建築物等名称 : 小林斎場
建築物等所在地 : 大阪市大正区小林東3丁目12番8号
施工年 : 昭和53年
試料採取部位 : (管理棟)更衣室巾木
試料名称 : 塩ビ巾木
* 試料採取日 : 令和4年10月5日
* 試料採取者 : 南野 孝文
* 試料採取方法 : カッター等による切断

*試料の採取は依頼者側で実施



試料の写真
(受付番号: 101815)

分析方法

依頼者採取により提出された上記試料を、JIS A1481-1『建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法』に基づき分析した。

ただし、『アスベスト分析マニュアル【1.11版】』(平成29年6月 厚生労働省)「3.4 不検出確定の手順」および、JIS A1481-2『建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法』の記載内容も参考とした。

双眼実体顕微鏡 : SMZ745T (株式会社 ニコン製)
偏光顕微鏡 : ECLIPSE LV100POL (株式会社 ニコン製)
X線回折装置 : X'pert PRO (PANalytical 製)
位相差顕微鏡 : ECLIPSE 80i TP-DSP (株式会社ニコン 製)

偏光顕微鏡 (PLM) および位相差顕微鏡による定性分析結果

石綿の種類	推定石綿質量分率					
クリソタイル	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アモサイト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
クロシドライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
トレモライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アクチノライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アンソフィライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	

※分析結果の詳細は裏面参照のこと

判定結果

アスベスト含有せず

以上

実体顕微鏡による観察結果

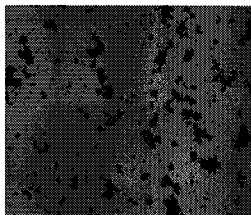
(分析実施日：令和4年10月18日)



※ 偏光顕微鏡による詳細観察に供することができる
アスベスト様の繊維粒子は検出できなかった。
以下の手順は、均一化した試料から任意に採取したものを使用した。

偏光顕微鏡および位相差顕微鏡による分散染色法により確認された代表的な繊維状粒子とその光学特性

(分析実施日：令和4年10月25日)

分析項目	結果	観察した繊維の PLM像
アスベスト様形態	なし	
色	黒	
多色性	なし	
複屈折性	なし	
消光角	なし	
伸張の符号	無	
浸液の屈折率	アスベスト様形態に該当する繊維は検出されなかった。 そのため、分散染色法は実施しなかった。	
上記浸液に対応する分散色		

※ 上記の光学特性をもつ繊維は、アスベスト繊維に該当しない。

X線回折方法による定性分析 (参考)

(分析実施日：令和4年10月20日)

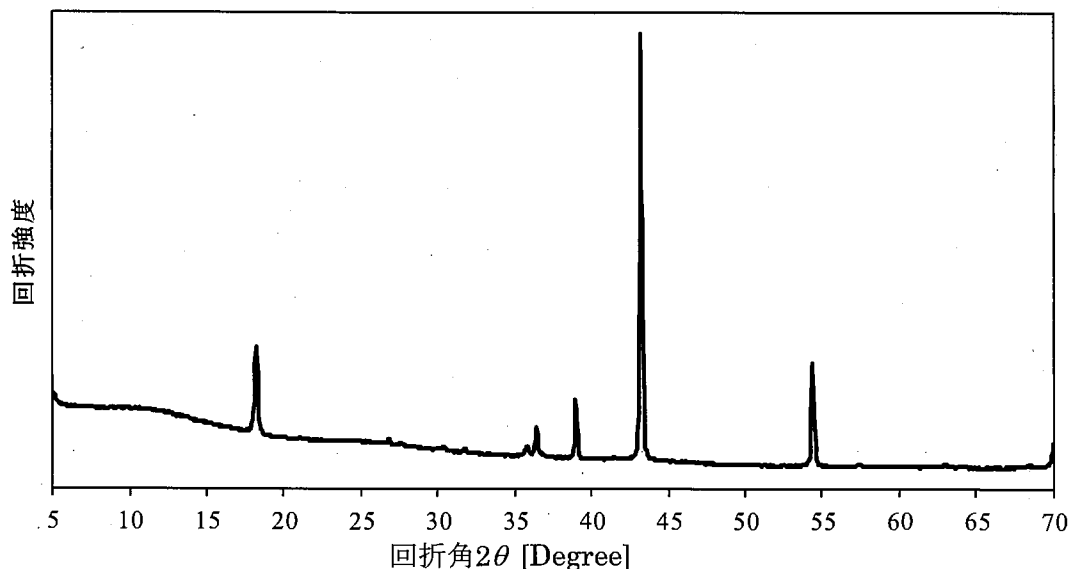


図 JIS A1481-2を参考に、作成した二次分析試料を測定したX線回折結果

建材製品中の非飛散性アスベスト含有判定結果

大阪市立環境科学研究センター

試料

受付日 : 令和4年10月18日
 建築物等名称 : 小林斎場
 建築物等所在地 : 大阪市大正区小林東3丁目12番8号
 施工年 : 昭和53年
 試料採取部位 : (管理棟)休憩室壁
 試料名称 : モルタル、ビニルクロス
 * 試料採取日 : 令和4年10月5日
 * 試料採取者 : 南野 孝文
 * 試料採取方法 : カッター等による切断

*試料の採取は依頼者側で実施



試料の写真
(受付番号 : 101816)

分析方法

依頼者採取により提出された上記試料を、JIS A1481-1『建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法』に基づき分析した。

ただし、『アスベスト分析マニュアル【1.11版】』(平成29年6月 厚生労働省)および

JIS A1481-2『建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部:

試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法』の記載内容も参考とした。

双眼実体顕微鏡 : SMZ745T (株式会社 ニコン製)
 偏光顕微鏡 : ECLIPSE LV100POL (株式会社 ニコン製)
 X線回折装置 : X'pert PRO (PANalytical 製)
 位相差顕微鏡 : ECLIPSE 80i TP-DSP (株式会社ニコン 製)
 走査電子顕微鏡 : JSM-IT100 InTouchScope (日本電子株式会社製)

走査電子顕微鏡による定性分析結果

石綿の種類	推定石綿質量分率					
クリソタイル	[] 無検出	[] 検出	[○] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アモサイト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
クロンドライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
トレモライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アクチノライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アンソフィライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	

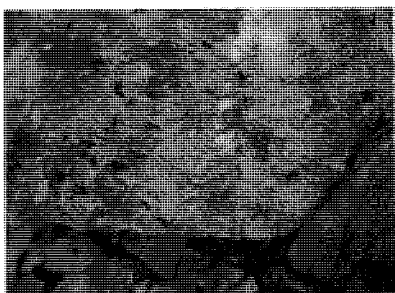
※分析結果の詳細は裏面参照のこと

判定結果

アスベスト含有(クリソタイル)

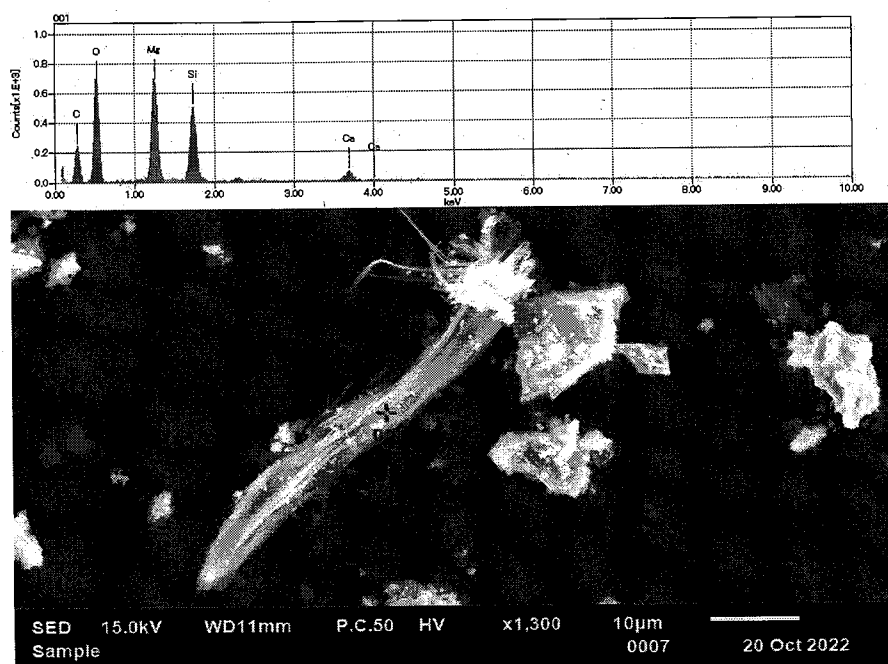
以上

(分析実施日：令和4年10月18日)



※ 偏光顕微鏡による詳細観察に供することができる
アスベスト様の繊維粒子は検出できなかった。
以下の手順は、均一化した試料から任意に採取したものを使用した。

(分析実施日：令和4年10月20日)



※ 加速電圧, 倍率などの観察条件は図中に記載

形状およびEDX分析結果より上図繊維は、クリソタイルであると判断された。

(分析実施日：令和4年10月19日)

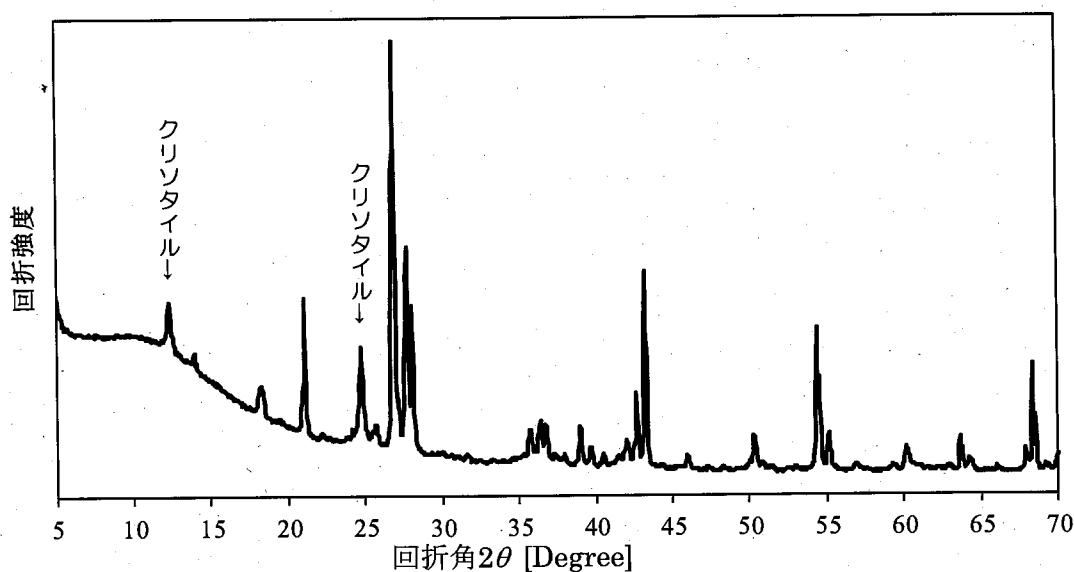


図 JIS A1481-2を参考に、作成した二次分析試料を測定したX線回折結果

試料

受建建施訓訓
* * *

分析7

依_レ多_クた_らば註

刃偏 X 位

偏光

判定

フ

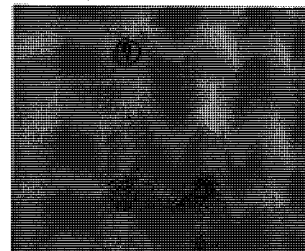
建材製品中の非飛散性アスベスト含有判定結果

大阪市立環境科学研究センター

試料

受付日 : 令和4年10月18日
建築物等名称 : 小林斎場
建築物等所在地 : 大阪市大正区小林東3丁目12番8号
施工年 : 昭和53年
試料採取部位 : (管理棟)休憩室天井
試料名称 : リブ付岩綿系吸音板
* 試料採取日 : 令和4年10月5日
* 試料採取者 : 南野 孝文
* 試料採取方法 : カッター等による切断

*試料の採取は依頼者側で実施



試料の写真
(受付番号: 101817)

分析方法

依頼者採取により提出された上記試料を、JIS A1481-1『建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法』に基づき分析した。

ただし、『アスベスト分析マニュアル【1.11版】』(平成29年6月 厚生労働省)「3.4 不検出確定の手順」および、JIS A1481-2『建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法』の記載内容も参考とした。

双眼実体顕微鏡 : SMZ745T (株式会社 ニコン製)
偏光顕微鏡 : ECLIPSE LV100POL (株式会社 ニコン製)
X線回折装置 : X'pert PRO (PANalytical 製)
位相差顕微鏡 : ECLIPSE 80i TP-DSP (株式会社ニコン 製)

偏光顕微鏡 (PLM) および位相差顕微鏡による定性分析結果

石綿の種類	推定石綿質量分率					
クリソタイル	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アモサイト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
クロシドライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
トレモライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アクチノライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アンソフィライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	

※分析結果の詳細は裏面参照のこと

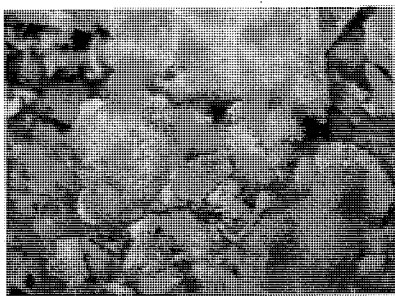
判定結果

アスベスト含有せず

以上

実体顕微鏡による観察結果

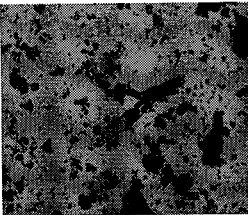
(分析実施日：令和4年10月18日)



※ 偏光顕微鏡による詳細観察に供することができる
アスベスト様の繊維粒子は検出できなかった。
以下の手順は、均一化した試料から任意に採取したものを使用した。

偏光顕微鏡および位相差顕微鏡による分散染色法により確認された代表的な繊維状粒子とその光学特性

(分析実施日：令和4年10月21日)

分析項目	結果	観察した繊維の PLM像
アスベスト様形態	なし	
色	なし	
多色性	なし	
複屈折性	有	
消光角	ゼロ(直消光)	
伸張の符号	正	
浸液の屈折率	アスベスト様形態に該当する繊維は検出されなかった。 そのため、分散染色法は実施しなかった。	
上記浸液に対応する分散色		

※ 上記の光学特性をもつ繊維は、アスベスト繊維に該当しない。

X線回折方法による定性分析 (参考)

(分析実施日：令和4年10月19日)

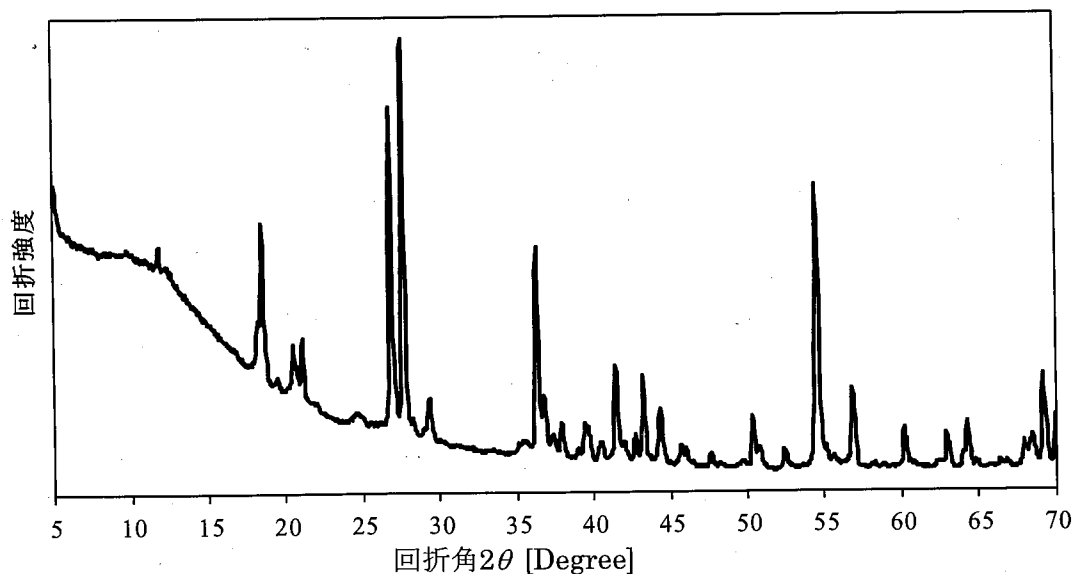


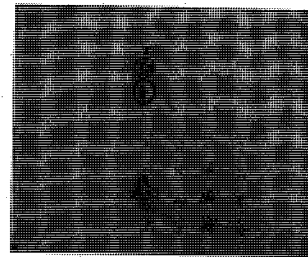
図 JIS A1481-2を参考に、作成した二次分析試料を測定したX線回折結果

建材製品中の非飛散性アスベスト含有判定結果

大阪市立環境科学研究センター

試料

受付日 : 令和4年10月18日
建築物等名称 : 小林斎場
建築物等所在地 : 大阪市大正区小林東3丁目12番8号
施工年 : 昭和53年
試料採取部位 : (管理棟) 救護室壁
試料名称 : モルタル 砂壁状吹付
* 試料採取日 : 令和4年10月5日
* 試料採取者 : 南野 孝文
* 試料採取方法 : カッター等による切断
* 試料の採取は依頼者側で実施



試料の写真
(受付番号: 101818)

分析方法

依頼者採取により提出された上記試料を、JIS A1481-1『建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法』に基づき分析した。

ただし、『アスベスト分析マニュアル【1.11版】』(平成29年6月 厚生労働省)およびJIS A1481-2『建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法』の記載内容も参考とした。

双眼実体顕微鏡 : SMZ745T (株式会社 ニコン製)
偏光顕微鏡 : ECLIPSE LV100POL (株式会社 ニコン製)
X線回折装置 : X'pert PRO (PANalytical 製)
位相差顕微鏡 : ECLIPSE 80i TP-DSP (株式会社ニコン 製)
走査電子顕微鏡 : JSM-IT100 InTouchScope (日本電子株式会社製)

走査電子顕微鏡による定性分析結果

石綿の種類	推定石綿質量分率					
クリソタイル	[] 無検出	[] 検出	[○] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アモサイト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
クロシドライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
トレモライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アクチノライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アンソフィライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	

※分析結果の詳細は裏面参照のこと

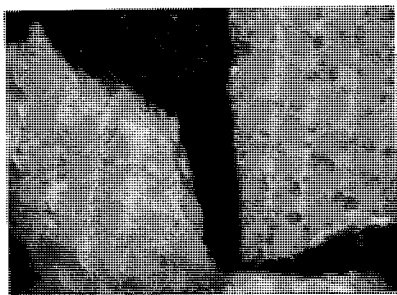
判定結果

アスベスト含有(クリソタイル)

以上

実体顕微鏡による観察結果

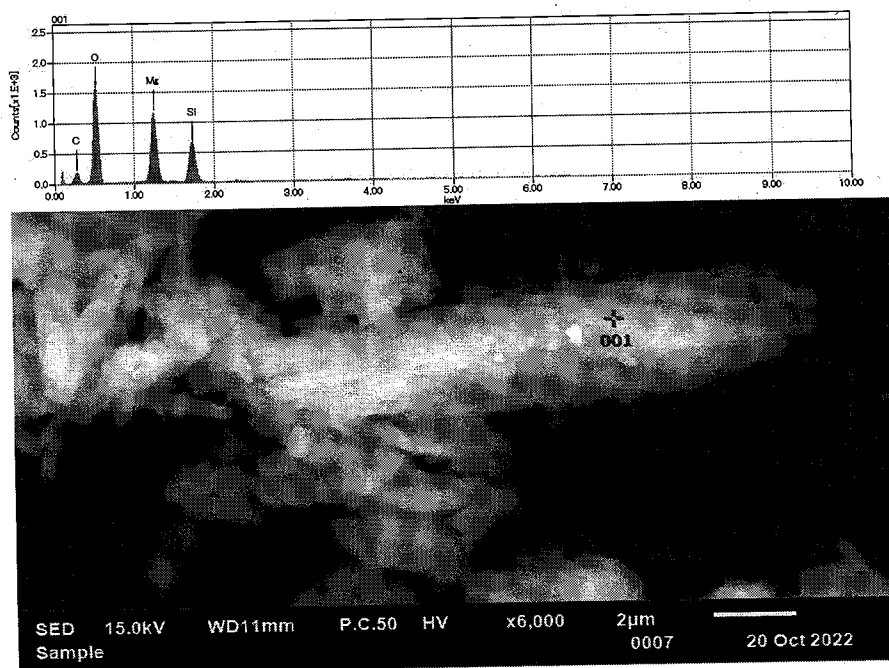
(分析実施日：令和4年10月18日)



※ 偏光顕微鏡による詳細観察に供することができる
アスベスト様の繊維粒子は検出できなかった。
以下の手順は、均一化した試料から任意に採取したものを使用した。

電子顕微鏡(SEM)による定性分析

(分析実施日：令和4年10月20日)



※ 加速電圧, 倍率などの観察条件は図中に記載

形状およびEDX分析結果より上図繊維は、クリソタイルであると判断された。

X線回折方法による定性分析 (参考)

(分析実施日：令和4年10月19日)

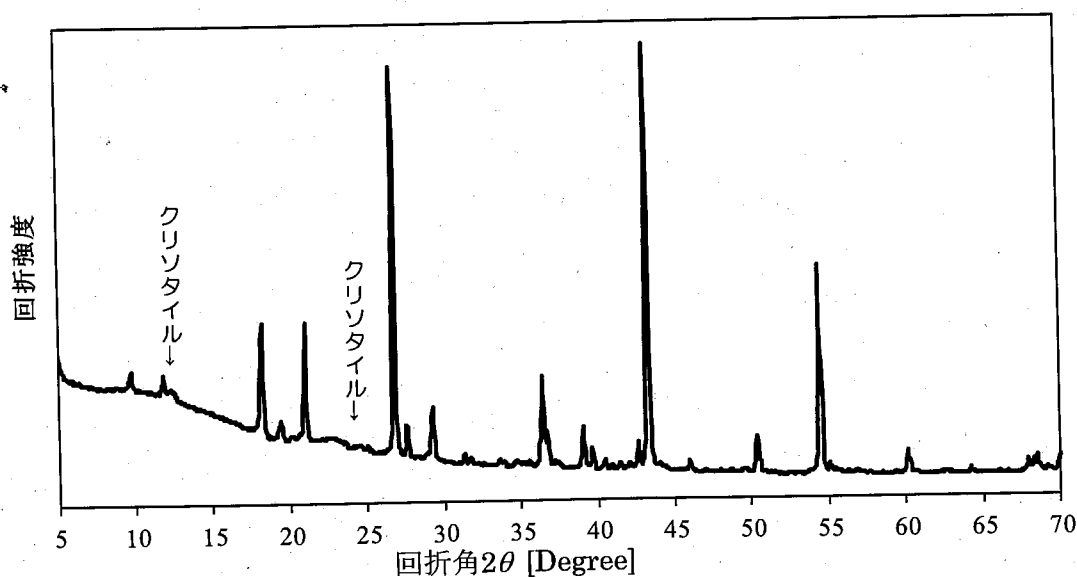


図 JIS A1481-2を参考に、作成した二次分析試料を測定したX線回折結果

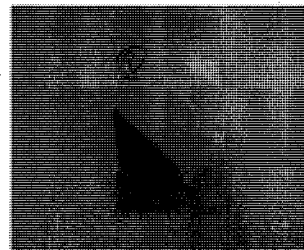
建材製品中の非飛散性アスベスト含有判定結果

大阪市立環境科学研究センター

試料

受付日 : 令和4年10月18日
 建築物等名称 : 小林斎場
 建築物等所在地 : 大阪市大正区小林東3丁目12番8号
 施工年 : 昭和53年
 試料採取部位 : (管理棟)事務室床
 試料名称 : ビニールアスベストタイル
 * 試料採取日 : 令和4年10月5日
 * 試料採取者 : 南野 孝文
 * 試料採取方法 : カッター等による切断

*試料の採取は依頼者側で実施



試料の写真
(受付番号: 101819)

分析方法

依頼者採取により提出された上記試料を、JIS A1481-1『建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法』に基づき分析した。

ただし、『アスベスト分析マニュアル【1.11版】』(平成29年6月 厚生労働省)および
 JIS A1481-2『建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部:
 試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法』の記載内容も参考とした。

双眼実体顕微鏡 : SMZ745T (株式会社 ニコン製)
 偏光顕微鏡 : ECLIPSE LV100POL (株式会社 ニコン製)
 X線回折装置 : X'pert PRO (PANalytical 製)
 位相差顕微鏡 : ECLIPSE 80i TP-DSP (株式会社ニコン 製)
 走査電子顕微鏡 : JSM-IT100 InTouchScope (日本電子株式会社製)

走査電子顕微鏡による定性分析結果

石綿の種類	推定石綿質量分率					
クリソタイル	[] 無検出	[] 検出	[○] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アモサイト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
クロシドライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
トレモライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アクチノライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アンソフィライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	

※分析結果の詳細は裏面参照のこと

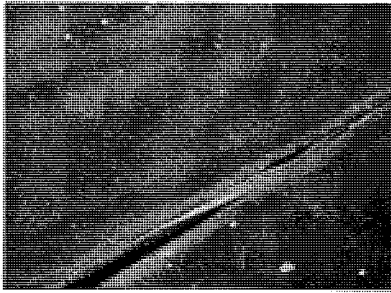
判定結果

アスベスト含有(クリソタイル)

以上

実体顕微鏡による観察結果

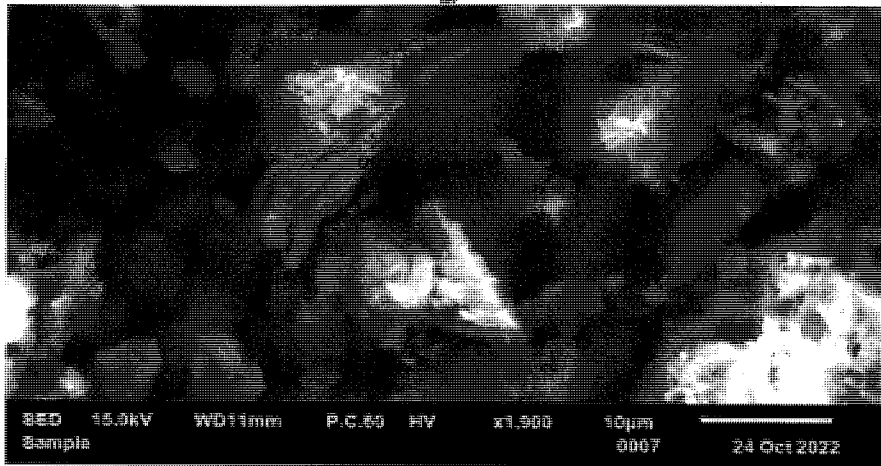
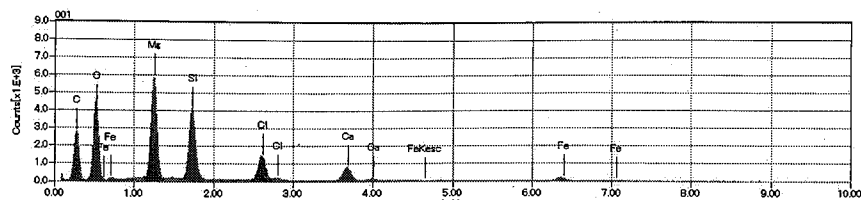
(分析実施日：令和4年10月18日)



※ 偏光顕微鏡による詳細観察に供することができる
アスベスト様の繊維粒子は検出できなかった。
以下の手順は、均一化した試料から任意に採取したものを使用した。

電子顕微鏡(SEM)による定性分析

(分析実施日：令和4年10月24日)



※ 加速電圧、倍率などの観察条件は図中に記載
形状およびEDX分析結果より上図繊維は、クリソタイルであると判断された。

X線回折方法による定性分析（参考）

(分析実施日：令和4年10月20日)

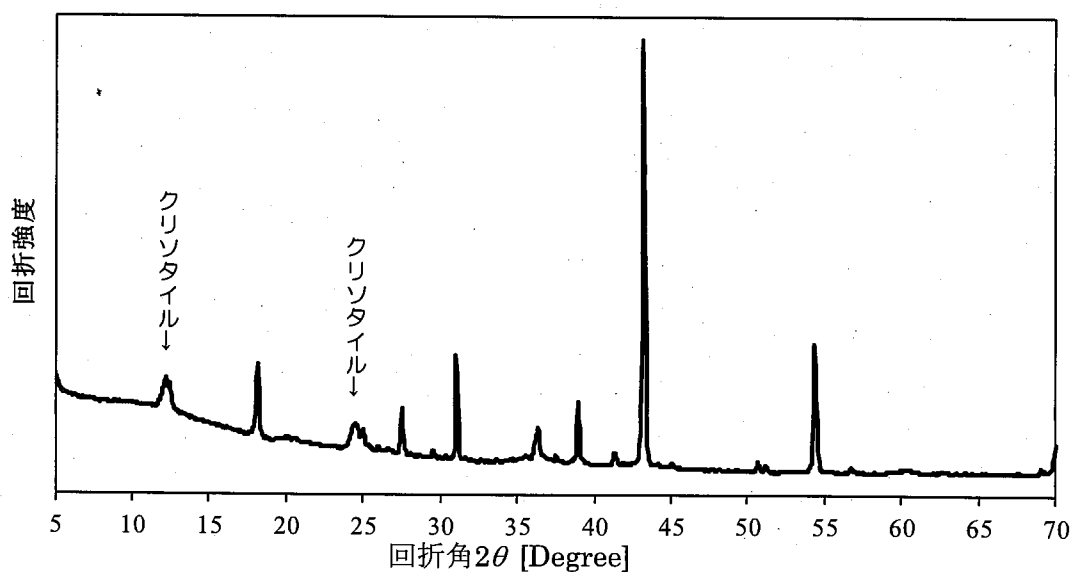


図 JIS A1481-2を参考に、作成した二次分析試料を測定したX線回折結果

試料

受付
建築
建築
施工
試料
試料
* 試料
* 試料
* 試料

分析方法

依頼
-第1
ただ
およ
試料

双眼
偏光
X線
位相

偏光顕微

石
ク
ア
ケ
ト
ア
アン

判定結果

アス

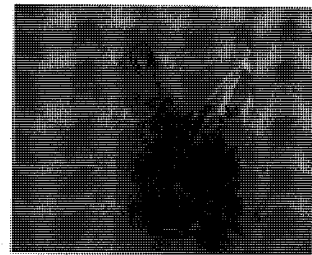
建材製品中の非飛散性アスベスト含有判定結果

大阪市立環境科学研究センター

試料

受付日 : 令和4年10月18日
建築物等名称 : 小林斎場
建築物等所在地 : 大阪市大正区小林東3丁目12番8号
施工年 : 昭和53年
試料採取部位 : (管理棟)給湯室天井
試料名称 : 木毛セメント板
* 試料採取日 : 令和4年10月5日
* 試料採取者 : 南野 孝文
* 試料採取方法 : カッター等による切断

*試料の採取は依頼者側で実施



試料の写真
(受付番号 : 101820)

分析方法

依頼者採取により提出された上記試料を、JIS A1481-1『建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法』に基づき分析した。

ただし、『アスベスト分析マニュアル【1.11版】』(平成29年6月 厚生労働省)「3.4 不検出確定の手順」および、JIS A1481-2『建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法』の記載内容も参考とした。

双眼実体顕微鏡 : SMZ745T (株式会社 ニコン製)
偏光顕微鏡 : ECLIPSE LV100POL (株式会社 ニコン製)
X線回折装置 : X'pert PRO (PANalytical 製)
位相差顕微鏡 : ECLIPSE 80i TP-DSP (株式会社ニコン 製)

偏光顕微鏡 (PLM) および位相差顕微鏡による定性分析結果

石綿の種類	推定石綿質量分率					
クリソタイル	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アモサイト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
クロシドライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
トレモライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アクチノライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アンソフィライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	

※分析結果の詳細は裏面参照のこと

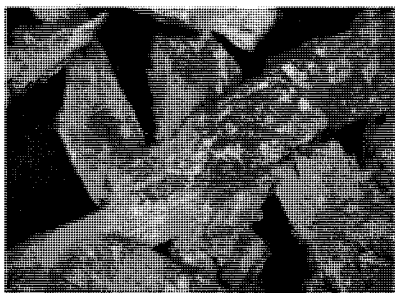
判定結果

アスベスト含有せず

以上

実体顕微鏡による観察結果

(分析実施日：令和4年10月18日)



※ 偏光顕微鏡による詳細観察に供することができる
アスベスト様の繊維粒子は検出できなかった。
以下の手順は、均一化した試料から任意に採取したものを使用した。

試料

受付
建築
建築
施工
試料
試料
* 試料
* 試料
* 試料

分析方

依頼
第1
ただ
およ
試料

双照
偏光
X線
位相

偏光顕

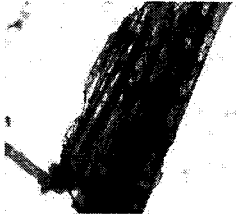
不
シ
ク
ア
ア

判定結

アス

偏光顕微鏡および位相差顕微鏡による分散染色法により確認された代表的な繊維状粒子とその光学特性

(分析実施日：令和4年10月25日)

分析項目	結果	観察した繊維の PLM像
アスベスト様形態	なし	
色	なし	
多色性	なし	
複屈折性	有	
消光角	ゼロ(直消光)	
伸張の符号	正	
浸液の屈折率	アスベスト様形態に該当する繊維は検出されなかった。 そのため、分散染色法は実施しなかった。	
上記浸液に対応する分散色		

※ 上記の光学特性をもつ繊維は、アスベスト繊維に該当しない。

X線回折方法による定性分析（参考）

(分析実施日：令和4年10月19日)

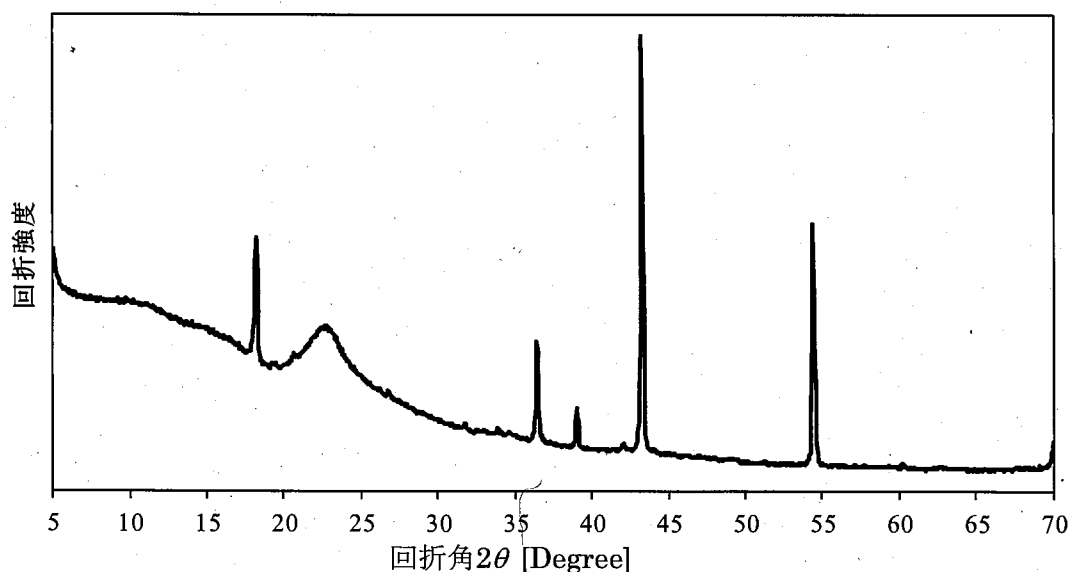


図 JIS A1481-2を参考に、作成した二次分析試料を測定したX線回折結果

8日)

建材製品中の非飛散性アスベスト含有判定結果

大阪市立環境科学研究センター

試料

使用した。

学特性

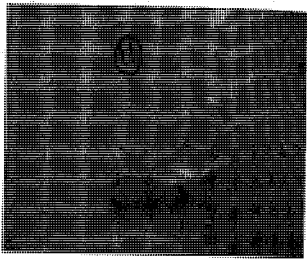
5日)

の

の

日)

受付日 : 令和4年10月18日
建築物等名称 : 小林斎場
建築物等所在地 : 大阪市大正区小林東3丁目12番8号
施工年 : 昭和53年
試料採取部位 : (管理棟)作業員控室天井
試料名称 : 石こうボード、エマルジョンアクリル塗
* 試料採取日 : 令和4年10月5日
* 試料採取者 : 南野 孝文
* 試料採取方法 : カッター等による切断
*試料の採取は依頼者側で実施



試料の写真
(受付番号 : 101821)

分析方法

依頼者採取により提出された上記試料を、JIS A1481-1 『建材製品中のアスベスト含有率測定方法 -第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法』に基づき分析した。
ただし、『アスベスト分析マニュアル【1.11版】』(平成29年6月 厚生労働省)「3.4 不検出確定の手順」および、JIS A1481-2 『建材製品中のアスベスト含有率測定方法 -第2部: 試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法』の記載内容も参考とした。

双眼実体顕微鏡 : SMZ745T (株式会社 ニコン製)
偏光顕微鏡 : ECLIPSE LV100POL (株式会社 ニコン製)
X線回折装置 : X'pert PRO (PANalytical 製)
位相差顕微鏡 : ECLIPSE 80i TP-DSP (株式会社ニコン 製)

偏光顕微鏡 (PLM) および位相差顕微鏡による定性分析結果

石綿の種類	推定石綿質量分率					
クリソタイル	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アモサイト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
クロソライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
トレモライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アクチノライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アンソフィライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	

※分析結果の詳細は裏面参照のこと

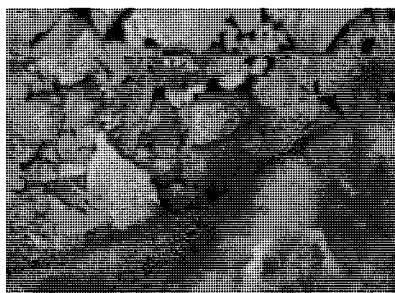
判定結果

アスベスト含有せず

以上

実体顕微鏡による観察結果

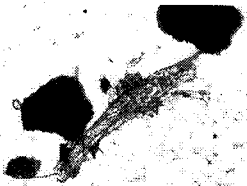
(分析実施日：令和4年10月18日)



※ 偏光顕微鏡による詳細観察に供することができる
アスベスト様の繊維粒子は検出できなかった。
以下の手順は、均一化した試料から任意に採取したものを使用した。

偏光顕微鏡および位相差顕微鏡による分散染色法により確認された代表的な繊維状粒子とその光学特性

(分析実施日：令和4年10月25日)

分析項目	結果	観察した繊維の PLM像
アスベスト様形態	なし	
色	なし	
多色性	なし	
複屈折性	有	
消光角	ゼロ(直消光)	
伸張の符号	正	
浸液の屈折率	アスベスト様形態に該当する繊維は検出されなかった。 そのため、分散染色法は実施しなかった。	
上記浸液に対応する分散色		

※ 上記の光学特性をもつ繊維は、アスベスト繊維に該当しない。

X線回折方法による定性分析（参考）

(分析実施日：令和4年10月19日)

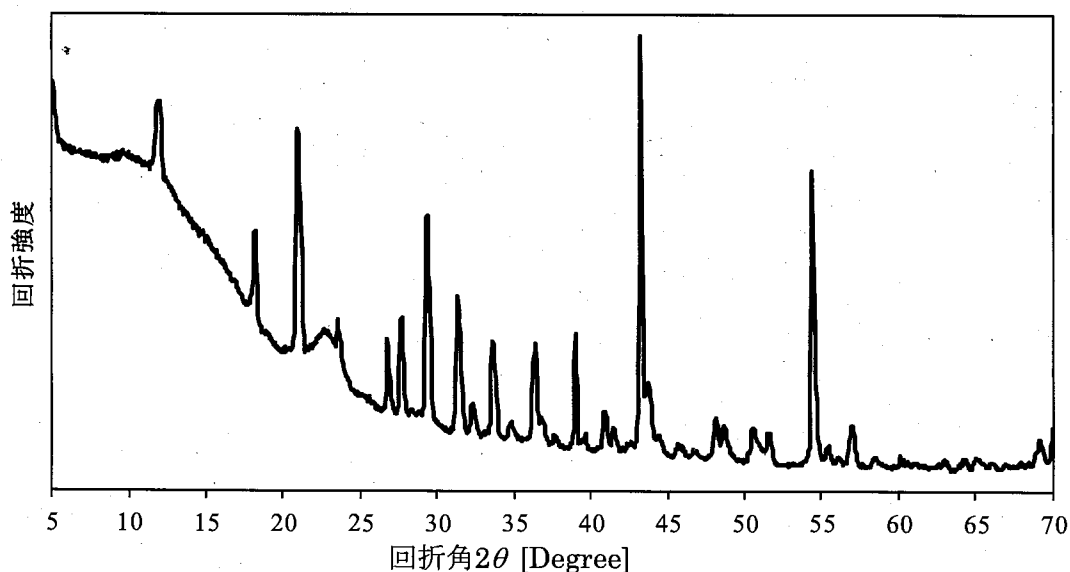


図 JIS A1481-2を参考に、作成した二次分析試料を測定したX線回折結果

試料

受付

建設

建設

施工

試験

試験

* 試験

* 試験

* 試験

分析方

依頼

第

た

お

試

料

双

偏

X線

位

相

偏光顕

フ

ラ

ク

ラ

フ

ア

ア

判定結

ア

建材製品中の非飛散性アスベスト含有判定結果

大阪市立環境科学研究センター

試料

受付日 : 令和4年10月18日
建築物等名称 : 小林斎場
建築物等所在地 : 大阪市大正区小林東3丁目12番8号
施工年 : 平成3年
試料採取部位 : (本館1階)外壁
試料名称 : モルタル下地 タイル状吹付
* 試料採取日 : 令和4年10月5日
* 試料採取者 : 南野 孝文
* 試料採取方法 : カッター等による切断

*試料の採取は依頼者側で実施



試料の写真
(受付番号 : 101822)

分析方法

依頼者採取により提出された上記試料を、JIS A1481-1『建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法』に基づき分析した。

ただし、『アスベスト分析マニュアル【1.11版】』(平成29年6月 厚生労働省)「3.4 不検出確定の手順」および、JIS A1481-2『建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法』の記載内容も参考とした。

双眼実体顕微鏡 : SMZ745T (株式会社 ニコン製)
偏光顕微鏡 : ECLIPSE LV100POL (株式会社 ニコン製)
X線回折装置 : X'pert PRO (PANalytical 製)
位相差顕微鏡 : ECLIPSE 80i TP-DSP (株式会社ニコン 製)

偏光顕微鏡 (PLM) および位相差顕微鏡による定性分析結果

石綿の種類	推定石綿質量分率					
クリソタイル	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アモサイト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
クロシドライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
トレモライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アクチノライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アンソフィライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	

※分析結果の詳細は裏面参照のこと

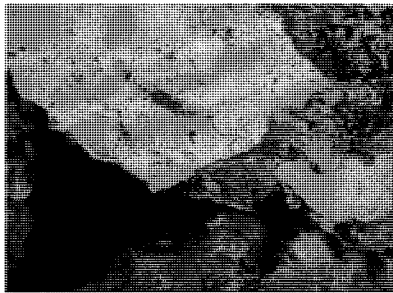
判定結果

アスベスト含有せず

以上

実体顕微鏡による観察結果

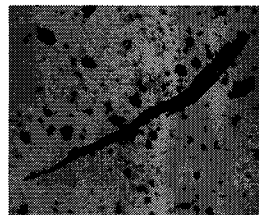
(分析実施日：令和4年10月18日)



※ 偏光顕微鏡による詳細観察に供することができる
アスベスト様の繊維粒子は検出できなかった。
以下の手順は、均一化した試料から任意に採取したものを使用した。

偏光顕微鏡および位相差顕微鏡による分散染色法により確認された代表的な繊維状粒子とその光学特性

(分析実施日：令和4年10月25日)

分析項目	結果	観察した繊維の PLM像
アスベスト様形態	なし	
色	なし	
多色性	なし	
複屈折性	有	
消光角	ゼロ(直消光)	
伸張の符号	正	
浸液の屈折率	アスベスト様形態に該当する繊維は検出されなかった。 そのため、分散染色法は実施しなかった。	
上記浸液に対応する分散色		

※ 上記の光学特性をもつ繊維は、アスベスト繊維に該当しない。

X線回折方法による定性分析（参考）

(分析実施日：令和4年10月19日)

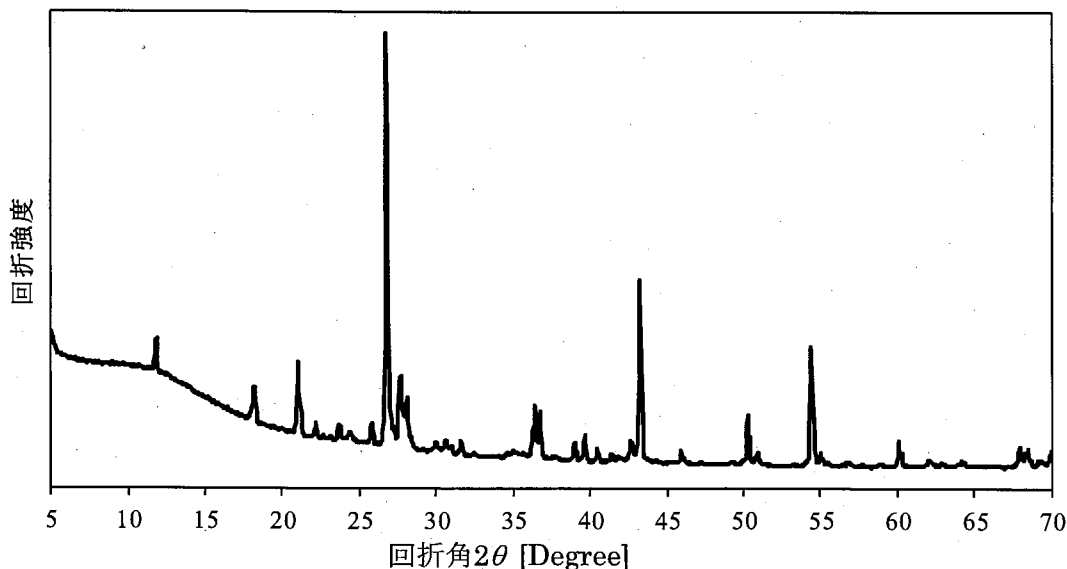


図 JIS A1481-2を参考に、作成した二次分析試料を測定したX線回折結果

試料

受付日
建築物等
建築物等
施工年
試料採取
試料名称
* 試料採取
* 試料採取
* 試料採取
* 試料

分析方法

依頼者採
-第1部:市
ただし、『
JIS A148
試料採取

双眼実体
偏光顕微
X線回折
位相差顕
走査電子

走査電子顕微

石綿の
クリソタ
アモサ
クロシド
トレモ
アクチノ
アンソフ

※分

判定結果

アスベスト

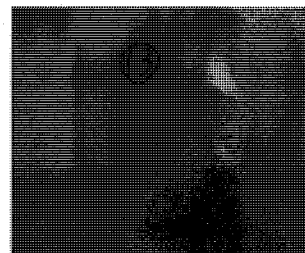
建材製品中の非飛散性アスベスト含有判定結果

大阪市立環境科学研究所センター

試料

受付日 : 令和4年10月18日
建築物等名称 : 小林斎場
建築物等所在地 : 大阪市大正区小林東3丁目12番8号
施工年 : 平成3年
試料採取部位 : (本館1階) 炉前ホール天井
試料名称 : 岩綿系吸音板
* 試料採取日 : 令和4年10月5日
* 試料採取者 : 南野 孝文
* 試料採取方法 : カッター等による切断

*試料の採取は依頼者側で実施



試料の写真
(受付番号: 101823)

分析方法

依頼者採取により提出された上記試料を、JIS A1481-1『建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法』に基づき分析した。

ただし、『アスベスト分析マニュアル【1.11版】』(平成29年6月 厚生労働省)およびJIS A1481-2『建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法』の記載内容も参考とした。

双眼実体顕微鏡 : SMZ745T (株式会社 ニコン製)
偏光顕微鏡 : ECLIPSE LV100POL (株式会社 ニコン製)
X線回折装置 : X'pert PRO (PANalytical 製)
位相差顕微鏡 : ECLIPSE 80i TP-DSP (株式会社ニコン 製)
走査電子顕微鏡 : JSM-IT100 InTouchScope (日本電子株式会社製)

走査電子顕微鏡による定性分析結果

石綿の種類	推定石綿質量分率					
クリソタイル	[] 無検出	[] 検出	[○] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アモサイト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
クロシドライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
トレモライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アクチノライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アンソフィライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	

※分析結果の詳細は裏面参照のこと

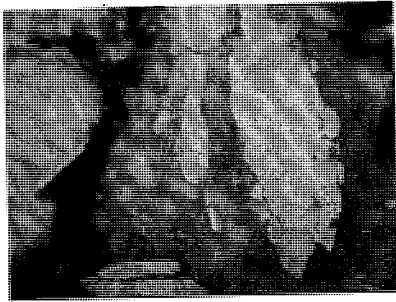
判定結果

アスベスト含有(クリソタイル)

以上

実体顕微鏡による観察結果

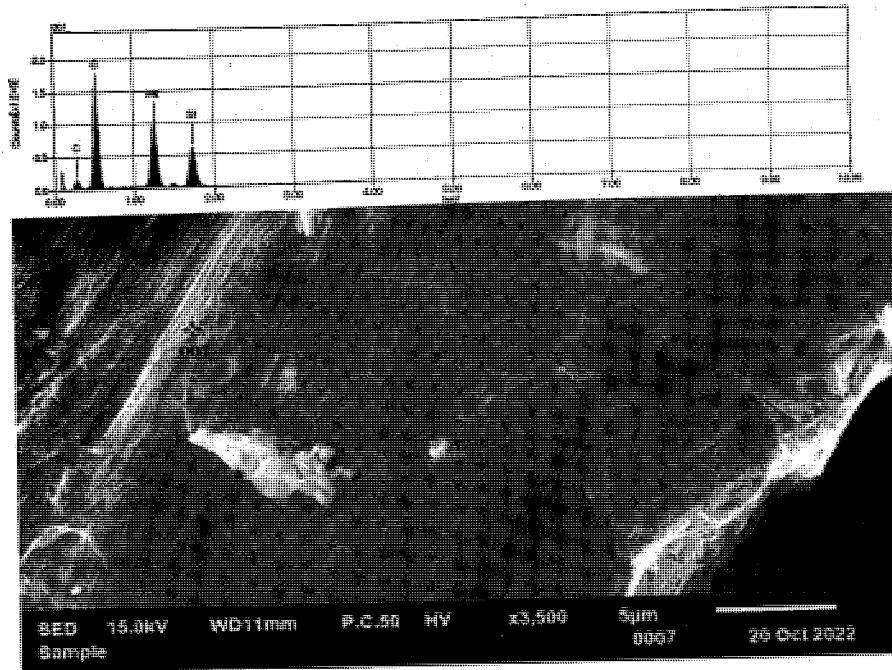
(分析実施日：令和4年10月18日)



※ 偏光顕微鏡による詳細観察に供することができる
アスベスト様の繊維粒子は検出できなかった。
以下の手順は、均一化した試料から任意に採取したものを使用した。

電子顕微鏡(SEM)による定性分析

(分析実施日：令和4年10月20日)



※ 加速電圧、倍率などの観察条件は図中に記載

形状およびEDX分析結果より上図繊維は、クリソタイルであると判断された。

X線回折方法による定性分析 (参考)

(分析実施日：令和4年10月19日)

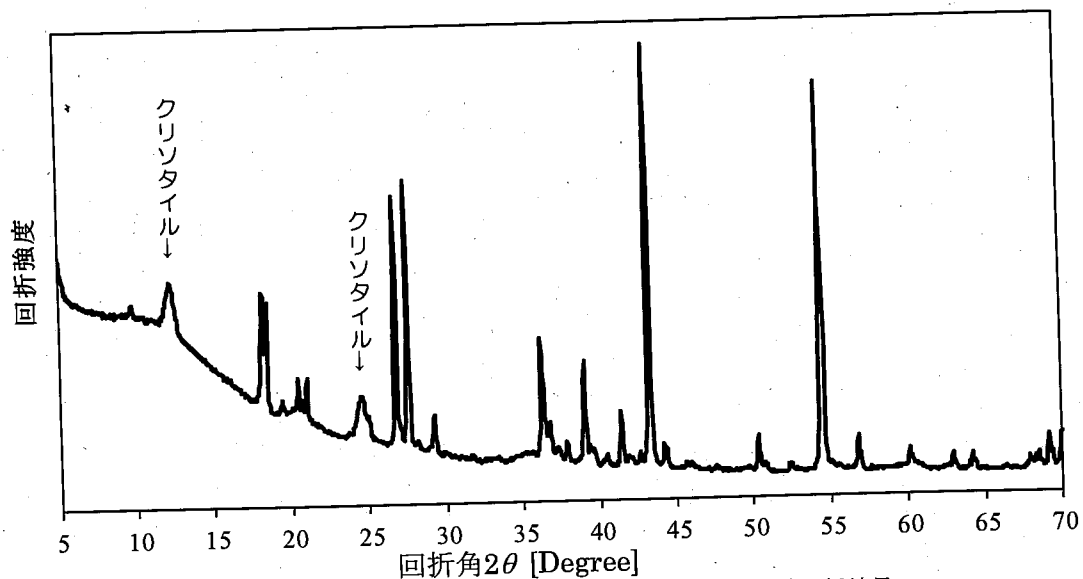


図 JIS A1481-2を参考に、作成した二次分析試料を測定したX線回折結果

建材製品中の非飛散性アスベスト含有判定結果

大阪市立環境科学研究センター

試料

受付日 : 令和4年10月18日
建築物等名称 : 小林斎場
建築物等所在地 : 大阪市大正区小林東3丁目12番8号
施工年 : 昭和53年
試料採取部位 : (管理棟)空調室天井
試料名称 : 木毛セメント
* 試料採取日 : 令和4年10月5日
* 試料採取者 : 南野 孝文
* 試料採取方法 : カッター等による切断

*試料の採取は依頼者側で実施



試料の写真
(受付番号: 101824)

分析方法

依頼者採取により提出された上記試料を、JIS A1481-1『建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法』に基づき分析した。

ただし、『アスベスト分析マニュアル【1.11版】』(平成29年6月 厚生労働省)「3.4 不検出確定の手順」および、JIS A1481-2『建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法』の記載内容も参考とした。

双眼実体顕微鏡 : SMZ745T (株式会社 ニコン製)
偏光顕微鏡 : ECLIPSE LV100POL (株式会社 ニコン製)
X線回折装置 : X'pert PRO (PANalytical 製)
位相差顕微鏡 : ECLIPSE 80i TP-DSP (株式会社ニコン 製)

偏光顕微鏡 (PLM) および位相差顕微鏡による定性分析結果

石綿の種類	推定石綿質量分率					
クリソタイル	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アモサイト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
クロシドライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
トレモライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アクチノライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アンソフィライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	

※分析結果の詳細は裏面参照のこと

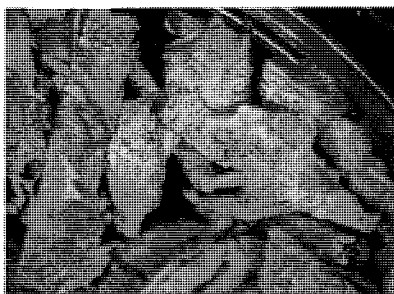
判定結果

アスベスト含有せず

以上

実体顕微鏡による観察結果

(分析実施日：令和4年10月18日)



※ 偏光顕微鏡による詳細観察に供することができる
アスベスト様の繊維粒子は検出できなかった。
以下の手順は、均一化した試料から任意に採取したものを使用した。

偏光顕微鏡および位相差顕微鏡による分散染色法により確認された代表的な繊維状粒子とその光学特性

(分析実施日：令和4年10月25日)

分析項目	結果	観察した繊維の PLM像
アスベスト様形態	なし	
色	なし	
多色性	なし	
複屈折性	有	
消光角	ゼロ(直消光)	
伸張の符号	正	
浸液の屈折率	アスベスト様形態に該当する繊維は検出されなかった。 そのため、分散染色法は実施しなかった。	
上記浸液に対応する分散色		

※ 上記の光学特性をもつ繊維は、アスベスト繊維に該当しない。

X線回折方法による定性分析（参考）

(分析実施日：令和4年10月19日)

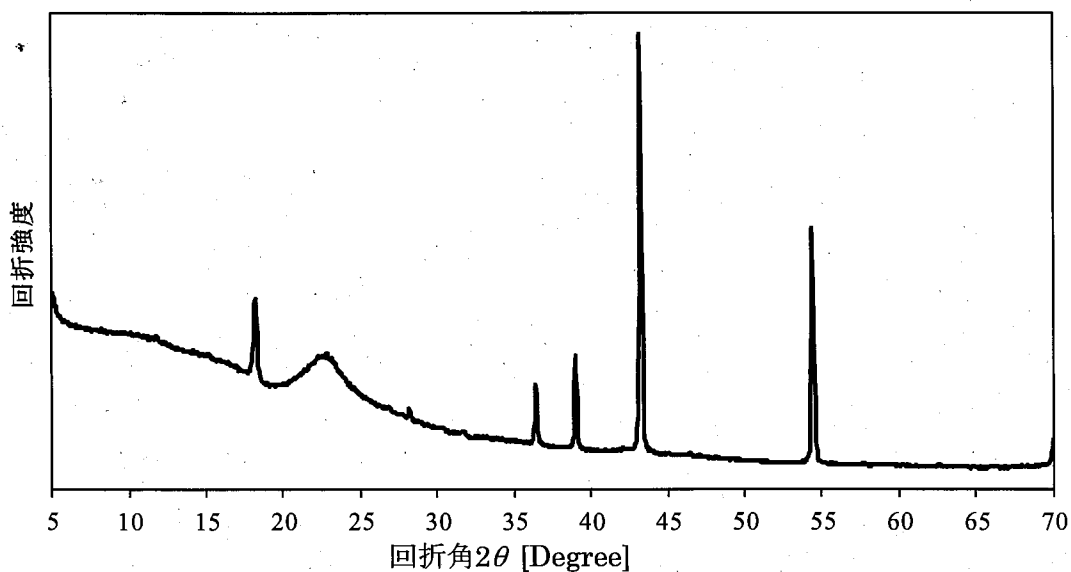


図 JIS A1481-2を参考に、作成した二次分析試料を測定したX線回折結果

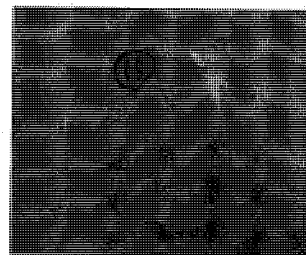
建材製品中の非飛散性アスベスト含有判定結果

大阪市立環境科学研究センター

試料

受付日 : 令和4年10月18日
 建築物等名称 : 小林斎場
 建築物等所在地 : 大阪市大正区小林東3丁目12番8号
 施工年 : 平成3年
 試料採取部位 : (本館1階)式場壁
 試料名称 : 石こうボード、ビニールクロス
 * 試料採取日 : 令和4年10月5日
 * 試料採取者 : 南野 孝文
 * 試料採取方法 : カッター等による切断

*試料の採取は依頼者側で実施



試料の写真
(受付番号 : 101825)

分析方法

依頼者採取により提出された上記試料を、JIS A1481-1『建材製品中のアスベスト含有率測定方法 -第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法』に基づき分析した。

ただし、『アスベスト分析マニュアル【1.11版】』(平成29年6月 厚生労働省)「3.4 不検出確定の手順」および、JIS A1481-2『建材製品中のアスベスト含有率測定方法 -第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法』の記載内容も参考とした。

双眼実体顕微鏡 : SMZ745T (株式会社 ニコン製)
 偏光顕微鏡 : ECLIPSE LV100POL (株式会社 ニコン製)
 X線回折装置 : X'pert PRO (PANalytical 製)
 位相差顕微鏡 : ECLIPSE 80i TP-DSP (株式会社ニコン 製)

偏光顕微鏡 (PLM) および位相差顕微鏡による定性分析結果

石綿の種類	推定石綿質量分率					
クリソタイル	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アモサイト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
クロシドライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
トレモライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アクチノライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アンソフィライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	

※分析結果の詳細は裏面参照のこと

判定結果

アスベスト含有せず

以上

実体顕微鏡による観察結果

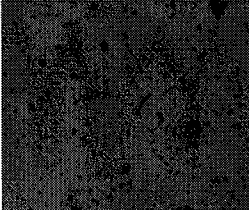
(分析実施日：令和4年10月18日)



※ 偏光顕微鏡による詳細観察に供することができる
アスベスト様の繊維粒子は検出できなかった。
以下の手順は、均一化した試料から任意に採取したものを使用した。

偏光顕微鏡および位相差顕微鏡による分散染色法により確認された代表的な繊維状粒子とその光学特性

(分析実施日：令和4年10月25日)

分析項目	結果	観察した繊維の PLM像
アスベスト様形態	なし	
色	なし	
多色性	なし	
複屈折性	なし	
消光角	なし	
伸張の符号	無	
浸液の屈折率	アスベスト様形態に該当する繊維は検出されなかった。 そのため、分散染色法は実施しなかった。	
上記浸液に対応する分散色		

※ 上記の光学特性をもつ繊維は、アスベスト繊維に該当しない。

X線回折方法による定性分析（参考）

(分析実施日：令和4年10月20日)

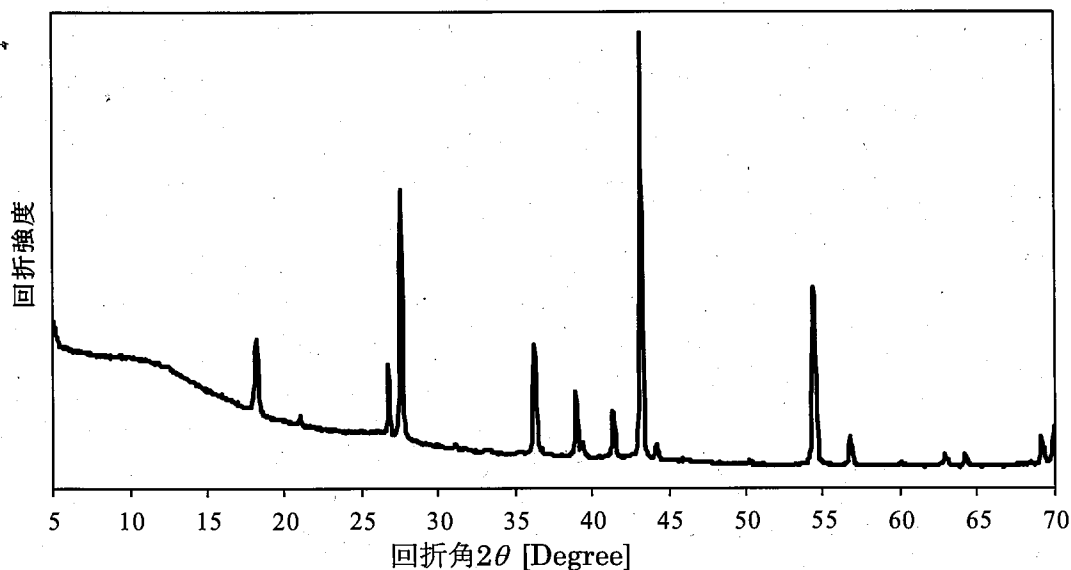


図 JIS A1481-2を参考に、作成した二次分析試料を測定したX線回折結果

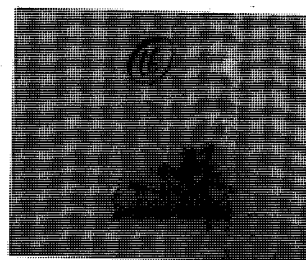
建材製品中の非飛散性アスベスト含有判定結果

大阪市立環境科学研究所センター

試料

受付日 : 令和4年10月18日
 建築物等名称 : 小林斎場
 建築物等所在地 : 大阪市大正区小林東3丁目12番8号
 施工年 : 平成3年
 試料採取部位 : (本館2階) 公害機械室天井
 試料名称 : 木毛セメント板、断熱材
 * 試料採取日 : 令和4年10月5日
 * 試料採取者 : 南野 孝文
 * 試料採取方法 : カッター等による切断

*試料の採取は依頼者側で実施



試料の写真
(受付番号: 101826)

分析方法

依頼者採取により提出された上記試料を、JIS A1481-1『建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法』に基づき分析した。

ただし、『アスベスト分析マニュアル【1.11版】』(平成29年6月 厚生労働省)「3.4 不検出確定の手順」および、JIS A1481-2『建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法』の記載内容も参考とした。

双眼実体顕微鏡 : SMZ745T (株式会社 ニコン製)
 偏光顕微鏡 : ECLIPSE LV100POL (株式会社 ニコン製)
 X線回折装置 : X'pert PRO (PANalytical 製)
 位相差顕微鏡 : ECLIPSE 80i TP-DSP (株式会社ニコン 製)

偏光顕微鏡 (PLM) および位相差顕微鏡による定性分析結果

石綿の種類	推定石綿質量分率					
クソソタイル	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アモサイト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
クロソドライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
トレモライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アクチノライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アンソフィライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	

※分析結果の詳細は裏面参照のこと

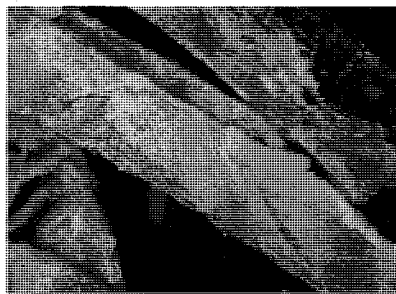
判定結果

アスベスト含有せず

以上

実体顕微鏡による観察結果

(分析実施日：令和4年10月18日)



※ 偏光顕微鏡による詳細観察に供することができる
アスベスト様の繊維粒子は検出できなかった。
以下の手順は、均一化した試料から任意に採取したものを使用した。

偏光顕微鏡および位相差顕微鏡による分散染色法により確認された代表的な繊維状粒子とその光学特性

(分析実施日：令和4年10月25日)

分析項目	結果	観察した繊維の PLM像
アスベスト様形態	なし	
色	なし	
多色性	なし	
複屈折性	有	
消光角	ゼロ(直消光)	
伸張の符号	正	
浸液の屈折率	アスベスト様形態に該当する繊維は検出されなかった。 そのため、分散染色法は実施しなかった。	
上記浸液に対応する分散色		

※ 上記の光学特性をもつ繊維は、アスベスト繊維に該当しない。

X線回折方法による定性分析（参考）

(分析実施日：令和4年10月19日)

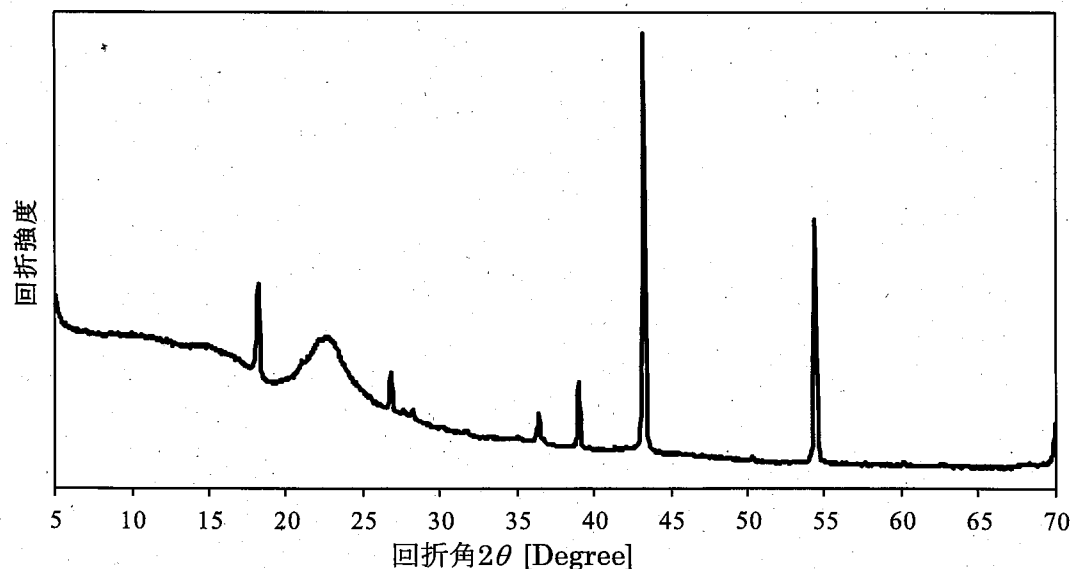


図 JIS A1481-2を参考に、作成した二次分析試料を測定したX線回折結果

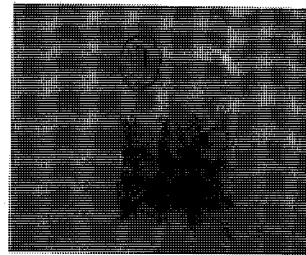
建材製品中の非飛散性アスベスト含有判定結果

大阪市立環境科学センター

試料

受付日 : 令和4年10月18日
建築物等名称 : 小林斎場
建築物等所在地 : 大阪市大正区小林東3丁目12番8号
施工年 : 平成3年
試料採取部位 : 電気室天井
試料名称 : 木毛セメント
* 試料採取日 : 令和4年10月5日
* 試料採取者 : 南野 孝文
* 試料採取方法 : カッター等による切断

*試料の採取は依頼者側で実施



試料の写真
(受付番号 : 101827)

分析方法

依頼者採取により提出された上記試料を、JIS A1481-1『建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法』に基づき分析した。

ただし、『アスベスト分析マニュアル【1.11版】』(平成29年6月 厚生労働省)「3.4 不検出確定の手順」および、JIS A1481-2『建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法』の記載内容も参考とした。

双眼実体顕微鏡 : SMZ745T (株式会社 ニコン製)
偏光顕微鏡 : ECLIPSE LV100POL (株式会社 ニコン製)
X線回折装置 : X'pert PRO (PANalytical 製)
位相差顕微鏡 : ECLIPSE 80i TP-DSP (株式会社ニコン 製)

偏光顕微鏡 (PLM) および位相差顕微鏡による定性分析結果

石綿の種類	推定石綿質量分率					
クリソタイル	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アモサイト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
クロシドライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
トレモライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アクチノライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	
アンソフィライト	[○] 無検出	[] 検出	[] 0.1-5%	[] 5-50%	[] 50-100%	

※分析結果の詳細は裏面参照のこと

判定結果

アスベスト含有せず

以上

実体顕微鏡による観察結果

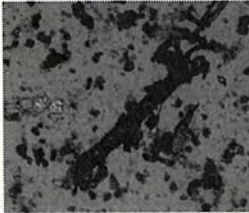
(分析実施日：令和4年10月18日)



※ 偏光顕微鏡による詳細観察に供することができる
アスベスト様の繊維粒子は検出できなかった。
以下の手順は、均一化した試料から任意に採取したものを使用した。

偏光顕微鏡および位相差顕微鏡による分散染色法により確認された代表的な繊維状粒子とその光学特性

(分析実施日：令和4年10月25日)

分析項目	結果	観察した繊維の PLM像
アスベスト様形態	なし	
色	なし	
多色性	なし	
複屈折性	有	
消光角	ゼロ(直消光)	
伸張の符号	正	
浸液の屈折率	アスベスト様形態に該当する繊維は検出されなかった。 そのため、分散染色法は実施しなかった。	
上記浸液に対応する分散色		

※ 上記の光学特性をもつ繊維は、アスベスト繊維に該当しない。

X線回折方法による定性分析 (参考)

(分析実施日：令和4年10月19日)

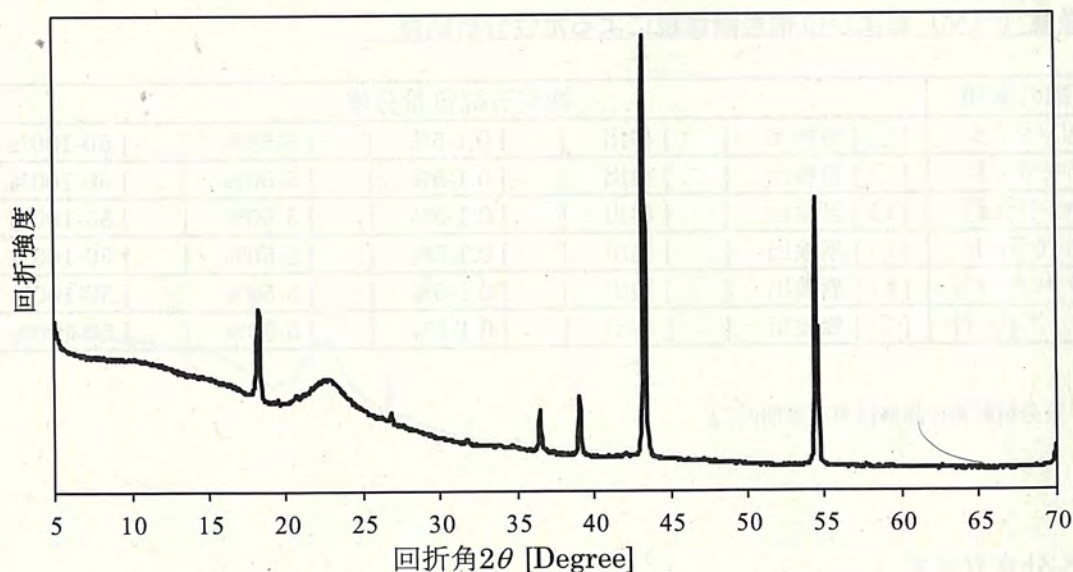


図 JIS A1481-2を参考に、作成した二次分析試料を測定したX線回折結果